

■夢の実現へリニア中央新幹線44
市民とともにリニアのまちづくり¹³
中津川市リニアのまちづくりビジョンが策定されました

「リニア中央新幹線」計画について、シリーズでお伝えしています。

今月は、第6回リニアのまちづくりビジョン策定委員会（以下策定委員会）及びビジョン完成式典の模様と、県の取り組みとして8月6日に行われた県期成同盟会によるJR東海への要望についてお伝えします。

問 リニア推進課（管内線323）

第6回リニアのまちづくり
ビジョン策定委員会

8月2日、健康福祉会館4階多目的ホールにおいて第6回の策定委員会が開催されました。

今回は昨年6月の委員会設置以降、幹事会など各委員会や地域協議会などにおいて幅広くご検討いただき取りまとめたビジョン素案を基に、パブリックコメントで寄せられたご意見などを参考に修正を加えた最終案が承認されました。

策定委員会終了後には策定に携わっていただいた各委員会の委員が見守られるなか、竹内委員長から青山市長にビジョンの引き渡しが行われました。

引き渡しに際し、竹内委員長から「足かけ2年にわたり検討してきたビジョンをこうして市長に手渡せるこ

とをうれしく思う。リニアのマイナスの影響を最小限に抑え、地域振興に役立つようなプラスの効果を最大限に引き出す努力が大切であり、その良い方向性を打ち出す事ができた」と述べられました。

受け取った青山市長は「ビジョン策定に携わっていただいた各委員の皆さんのご尽力に感謝申し上げます。今後は市民の皆さんのご支援を賜った中でビジョンに沿ってしっかりと魅力あるまちづくりを進めていくことをお約束する」と感謝と決意を述べました。



竹内委員長から青山市長へビジョン引き渡し

また、引き続き一般財団法人日本経済研究所調査局長兼地域未来研究センター副局長の大西達也氏による「リニア新駅と地域づくり」と題した講演会が開催され、地域社会を取り

巻く環境変化、広域圏で見た地域の現状分析、全国の新幹線の駅前の現状、地域振興プロジェクトの成功条件などについてお話があり、「新駅開業を地域振興に結び付けるためには、地域資源や地域の人材を磨き地域力（地域の総力）を高めることが重要」との指摘もありました。



講演会の様子

なお、完成したビジョンは市ホームページに掲載するとともに、概要版を作成し今月号の広報と一緒に全戸配布させていただいておりますのでご覧ください。

県期成同盟会JR東海へ要望

リニア中央新幹線建設促進岐阜県期成同盟会（以下同盟会）では8月6日、去る6月28日中津川市で開催された平成25年度総会において決議された項目についてJR東海に対し要望を行いました。

要望には同盟会会長の古田肇岐阜県知事、副会長である青山市長のほ

か、東濃各市の市長が出席し、「適切な役割分担による駅整備」「沿線自治体の意向に配慮した環境対策の推進」など今年度新たに追加された2項目を含む9項目からなる要望書をJR東海山田佳臣社長に手渡しました。

【要望項目】

- 1、リニア中央新幹線の早期実現
- 2、在来線との乗継利便性を考慮したリニア駅の設置
- 3、ルートの絞り込みへの沿線自治体の意向反映
- 4、適切な役割分担による駅整備
- 5、リニア開業後のダイヤ編成の早期提示
- 6、県内駅と各地を結ぶ鉄道アクセスの充実
- 7、総合車両所の着実な推進
- 8、沿線自治体の意向に配慮した環境対策の推進
- 9、事業の円滑な推進に向けての配慮